

東山動植物園 再生プラン

2015年度から2019年度までの主な事業内容





重点テーマ 東山の資産を活かし、 知的好奇心や探究心を引き出します。

東山動植物園では、2010年に策定した東山動植物園再生プラン新基本計画に基づく第一期事業として、アジアゾウ舎を始めとした展示施設、サービス施設及び東山の森などの整備を進めてきました。

2015年度から2019年度までの第二期事業では、展示施設の整備を進めるとともに、より一層にぎわいのある快適な空間を創出し、本市の観光拠点を目指します。また、環境教育や種の保存など動植物園が担う役割に引き続き取り組み、市民参加の森づくりを通じて自然にふれあう機会を提供します。



整備予定施設

もっと身近に、もっと楽しく、
自然とふれあうことの
大切さを伝えていきます。

アフリカ ゾーン

アフリカの森エリア

東山の誇る豊かな森を背景に、アフリカの森で暮らす
ニシローランドゴリラやチンパンジーなどの動物本来の
姿や躍動感を間近に観察できます。



アジア ゾーン

アジアの熱帯雨林エリア

多様な動物と植物が共存・共栄する熱帯雨林に生息する
スマトラトラやオランウータンなどを同じエリアで観察する
ことができます。



アメリカ ゾーン

南アメリカエリア

人類の営みの影響により、現在も環境悪化が進行して
いる南アメリカに生息するジャガーなど多様な動物をみ
ることができます。



世界の植物 と文化 ゾーン

洋風庭園

ヨーロッパの伝統的庭園の要素を取り入れた洋風庭園
において、温室との調和を図りながら世界の植物そして
人々との関わりを知ることができます。



新規営業施設

民間のノウハウを活用したフードコート、
カフェ、物販施設を動物園本園に導入
します。

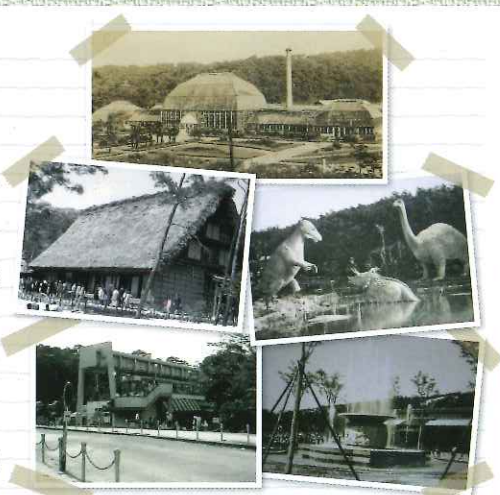


事業スケジュール

事 項	2015年度 (平成27年)	2016年度 (平成28年)	2017年度 (平成29年)	2018年度 (平成30年)	2019年度 (平成31年)
アフリカゾーン(アフリカの森エリア)					
アメリカゾーン(南アメリカエリア)					
アジアゾーン(アジアの熱帯雨林エリア)					
世界の植物と文化ゾーン(洋風庭園)					
歴史文化的施設の保全及び活用					
重要文化財温室前館					
にぎわいのある快適な園内の形成					
環境教育・調査研究・種の保存					
東山の森づくり					

歴史文化的施設の保全及び活用

- 重要文化財温室前館
2014年度に工事着手した保存修理を完了し、植物園における環境教育
や種の保存の中心的施設として活用します。
- 恐竜像
開園1周年を記念してつくられた、多くの市民に親しまれている恐竜像を
産学官の連携により、広場スペースのモニュメントとして保存・活用します。
- 合掌造りの家
岐阜県白川村から移築された合掌造りの家を、生活体験イベント等
を通して、日本文化を現代に伝える施設として保存・活用します。
- 東山モノレール
懸垂型モノレールについて、産業遺産として保存し、その歴史を学べ
る施設にするともに広場のモニュメントとして活用します。
- ケヤキに囲まれた正門噴水
開園当初から親しまれてきた正門噴水の景観を保全し、新規営業施設
と一体となった広場空間として活用します。



環境教育・調査研究・種の保存

環境教育

- 引き続き各種プログラムを実施するほ
か、より高度な内容の講座の開催を検討
します。
- 動物会館の展示を改修し、環境教育の
拠点施設として活用します。
- 重要文化財温室前館において、保存修理
完了後、植物の形態や環境への適応など
の展示を充実し、環境教育の場としても
活用します。



調査研究

- 連携する大学との共同研究を継続
的に進めるとともに、調査研究の
対象種を拡大していきます。
- アジアゾウの第二子繁殖を目指し
て生理学的調査を行います。
- 伊藤圭介の日記解読研究をさらに
進め、植物会館の展示内容の充実
を図ります。

種の保存

- アフリカの森整備に伴いゴリラや
チンパンジー、また日本産希少種
であるツシマヤマネコやイタセン
パラの繁殖に取り組みます。
- 東海地方の固有植物種の保存に
引き続き取り組むとともに、国内他
地域の固有種の生息域外保全や、
原種の保存を重点的に進めます。



ティウメダカ



ニシローランドゴリラ

マメナシ



東山の
森づくり



竹の侵食を抑制し雑木林を保全する作業

うるおいの森における湿地の再生や樹林地の
保全活動のほか、森での環境学習や体験学習などの
ワークショップを実施します。



東山動植物園

なごや東山の森
約400ha

平和公園

東山公園

東山動植物園
動物園 約32ha
植物園 約27ha

その他
(東山テニスコートなど)



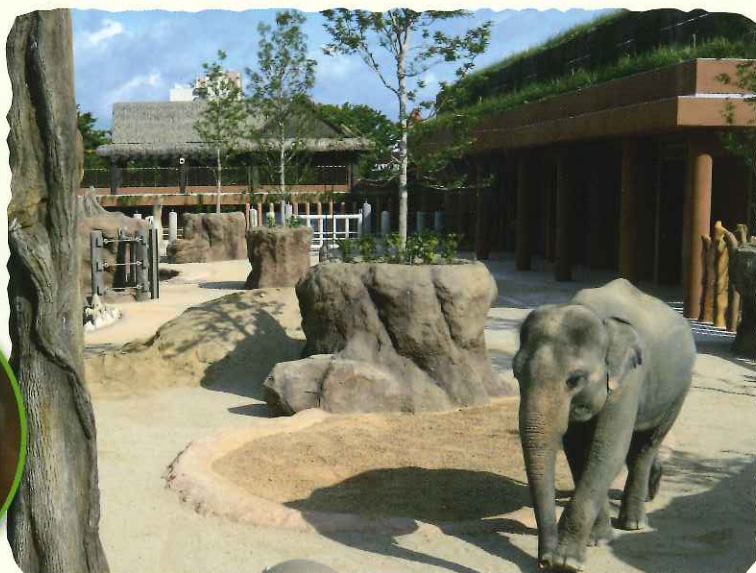
整備完了

第一期に
整備した主な施設を
紹介します。

アジアゾウ舎(ゾージアム)

東山の森を背景に、アジアゾウのふるさと「スリランカ」を体感できます。ゾウのことが学べる魅力もいっぱい。

群れで暮らす野生に近いアジアゾウの姿をご覧ください。



ツシマヤマネコ舎

国の天然記念物に指定されているツシマヤマネコの生態や生息地である長崎県対馬の環境などを学びながらご覧いただけます。

環境省の保護増殖事業計画に基づく繁殖施設としての役割があります。



シンリンオオカミ舎

樹木に覆われた広い運動場の中を群れで走り回る野生に近いオオカミの姿をご覧ください。

オオカミの息づかいを間近で感じてみてください。



ハクトウワシ舎

アメリカビーバーが生息する川の上空をハクトウワシが飛んでいる北アメリカの風景をイメージした施設です。翼を広げて悠々と飛ぶハクトウワシの姿をご覧ください。ビーバーのコーナーでは、天敵から身を守る巣穴の様子も観察してみてください。



飲食・物販施設～民間ノウハウの活用～

ひがしやまパレット上池

上池のほとり、おしゃれな空間で、森の風を感じながらランチ&カフェが楽しめます。

また、様々なお土産のほか、動物グッズや公式キャラクター『ズーボ』のグッズもお求めいただけます。



ガーデンテラス東山

森の中の落ち着いた雰囲気の中で、ゆったりと食事が楽しめます。

また、団体のお客様のご利用やウェディングにも対応しています。



企画・編集

名古屋市緑政土木局 東山総合公園再生整備課
〒464-0804 名古屋市千種区東山元町3-70
TEL.052-782-2111 FAX.052-782-2140
URL:<http://www.higashiyama.city.nagoya.jp>
発行年月:2015年(平成27年)3月

Asahi
アサヒグループ

Benesse

名古屋銀行

三井住友信託銀行グループ
三井住友トラスト不動産

docomo

brother

再生プランを応援する協定を結んでいただいています。

※このリーフレットは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。